

桐生スケートセンターの利活用に向けたサウンディング型市場調査の実施結果について

桐生市では、昭和39年に開設された「桐生スケートセンター」について、施設の老朽化により維持管理にかかる財政上の負担が大きく、運営の継続が困難になっていることから、民間のノウハウを活用し、独立採算等、市の財政負担を伴わない運営の可能性を調査することを目的に、民間事業者との対話を実施しました。

その結果、以下のとおりご意見をいただきましたので、結果概要についてお知らせいたします。

1 サウンディングの実施スケジュール

日 程	内 容
令和3年11月1日（月）	サウンディングの実施要領公表
令和3年11月26日（金）	現地見学会の開催
令和4年1月17日（月）	サウンディングの実施（事業者との対話）
令和4年3月1日（火）	サウンディングの結果公表

2 サウンディングの参加者

- (1) 現地見学会参加者 3者
- (2) サウンディング参加者 1者

3 サウンディング結果の概要

(1) 事業全体のコンセプト

- ・屋外プールを改修し、仮設リンクとして活用
- ・現スケート場を多目的に使用できるように改修
- ・将来的には環境に配慮した総合アイスアリーナとして開発整備

(2) 事業内容

①施設の活用方法

(ア) 屋外プール（50m×25m）の活用

- ・製氷装置を設置し、仮設リンクとして使用
- ・地元の天然氷を一部利用したリンクづくり
- ・シート地の屋根を設置し室内温度を管理

(イ) スケートリンク建物の活用

- ・鉄骨と屋根だけを残し、インラインスケート、カーリングの陸上用練習場として整備。屋外にスケートボードパークを新設。

- ・将来的には全面撤去し、総合アイスアリーナを建設（フィギュアスケート・アイスホッケー・ショートトラック・カーリング・身障者向け氷上競技・50m屋内プール・スポーツジム）

②管理・運営方法

- ・市内スケート愛好者を中心に市が協力して運営（屋外プール活用リンクの場合）

(3) 事業方式

- ・事業費（改修費等）は不明
- ・事業費は市が負担（補助金等を活用する）

(4) 地域貢献

- ・市内の天然氷の観光資源化による、話題性、環境保護アピール
- ・毎年の天然氷結氷の観察を継続し地球温暖化の指標として活用
- ・アイスアリーナに環境保全センターを併設する

4 今後について

今回のサウンディングに提案いただいた活用アイデアについては、市の財政負担が大きく実現は困難と考えておりますが、今後施設の方向性を検討するにあたり参考にさせていただきます。